

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【公開番号】特開2006-159793(P2006-159793A)

【公開日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2006-024

【出願番号】特願2004-357306(P2004-357306)

【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/175 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月19日(2010.4.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

袋状の包装に収納されて扱われる、インクを貯留したインクタンクにおいて、  
インクを外部に供給するための供給口と、  
電氣的接続を行うための接点を設けた基板と、  
を具え、前記インクタンクには前記供給口を保護するキャップが装着され、該キャップ内にアンモニア吸収部材が配されていることを特徴とするインクタンク。

【請求項2】

袋状の包装に収納されて扱われる、インクを貯留したインクタンクにおいて、  
インクを外部に供給するための供給口と、  
電氣的接続を行うための接点を設けた基板と、  
を具え、アンモニア吸収部材を前記インクタンクの内部に配したことを特徴とするインクタンク。

【請求項3】

前記アンモニア吸収部材をインクタンクの大気連通口を構成する部材内部に配したことを特徴とする請求項2に記載のインクタンク。

【請求項4】

前記アンモニア吸収部材を前記基板に配したことを特徴とする請求項2に記載のインクタンク。

【請求項5】

前記アンモニア吸収部材を前記インクタンクに設けられるラベル部材に配したことを特徴とする請求項2に記載のインクタンク。

【請求項6】

前記アンモニア吸収部材はゼオライトであることを特徴とする請求項1ないし5のいずれかに記載のインクタンク。

【請求項7】

袋状の包装に収納されて扱われる、インクを吐出するための記録ヘッドにおいて、  
インクを吐出するための吐出口と、  
電氣的接続を行うための接点を設けた基板と、  
を具え、前記記録ヘッドには前記吐出口を保護するキャップが装着され、該キャップ内に

アンモニア吸収部材が配されていることを特徴とする記録ヘッド。

【請求項 8】

袋状の包装に収納されて扱われる、インクを吐出するための記録ヘッドにおいて、  
インクを吐出するための吐出口と、  
電氣的接続を行うための接点を設けた基板と、  
を具え、アンモニア吸収部材を前記記録ヘッドの内部に配したことを特徴とする記録ヘッド。

【請求項 9】

袋状の包装と該包装に収納されたインクタンクおよび記録ヘッドの少なくともいずれか一方とからなるパッケージにおいて、

前記インクタンクまたは前記記録ヘッドには、前記インクタンクのインク供給口または前記記録ヘッドのインク吐出口を保護するキャップが装着され、該キャップ内にアンモニア吸収部材が配されていることを特徴とするパッケージ。

【請求項 10】

袋状の包装と該包装に収納されたインクタンクおよび記録ヘッドの少なくともいずれか一方とからなるパッケージにおいて、

アンモニア吸収部材を前記インクタンクまたは前記記録ヘッドの内部に配したことを特徴とするパッケージ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

他の形態では、袋状の包装に収納されて扱われる、インクを吐出するための記録ヘッドにおいて、インクを吐出するための吐出口と、電氣的接続を行うための接点を設けた基板と、を具え、アンモニア吸収部材を前記記録ヘッドの内部に配したことを特徴とする。